

こんにちは 豊前市議会です



No. 81
平成25年8月

目次 CONTENTS

議案の概要	2 P
平成25年度6月定例会 議案審議結果	3 P
一般質問	4～12 P
予算決算委員会での当初予算審議	13 P
トピックス・編集後記	14 P



7月3日開催、市老連主催の「輪投げ大会」

議会へのご意見をお寄せ下さい

■発行／豊前市議会
■豊前市大字吉木955 TEL 82-1111 内線1311
■ホームページ／<http://www.city.buzen.lg.jp>

議案の概要

平成25年第2回定例会は、6月3日から6月20日までの18日間の会期で開催されました。

本定例会には、条例5件、予算3件、その他の案件2件の合わせて10議案が提出され、それぞれ所管の常任委員会で審査され、すべての議案が原案どおり可決されました。

議員より請願1件が提案されましたが、原案どおり可決されました。

なお、昨年12月定例会から二度にわたって継続審査となっていました意見書案については、提出議員より内容の訂正請求があり、本会議で承認された後、全会一致で可決されました。

市長より人事案件2件、人権擁護委員の推薦に関する諮問案1件が出され、いずれも市長提案のとおり同意されました。

また、矢方池土木組合議会議員の選挙が行われ、指名推薦により12名の議員が選出されました。

同意案件

市長の提案に対し、全会一致で同意しました。(敬称略)

■公平委員会委員(任期4年)

豊前市大字四郎丸

上森 哲生

■固定資産評価審査委員

(任期3年)

豊前市大字下川底

則行 應史

人権擁護委員の推薦

市長からの提案に対し、全会一致で異議なしということになりました。(敬称略)

■人権擁護委員の候補者

豊前市大字下川底

(任期3年)

白川 志津子

選挙関係

指名推薦により選出されました。(敬称略)

■上毛町外一市一町

矢方池土木組合議会議員

(任期4年)

○三毛門地区(5名)

豊前市大字三毛門

木下 正幸

豊前市大字三毛門

倉垣 靖

豊前市大字六郎

繁永 榮一

豊前市大字市丸

植田 和法

豊前市大字三葉

鳥谷 嚴宣

○黒土地区(7名)

豊前市大字久路土

有延 新一

豊前市大字久路土

祐徳 勝行

豊前市大字皆毛

有吉 次夫

豊前市大字堀立

江崎 正幸

豊前市大字岸井

木下 研一

豊前市大字小石原

行平 裕通

豊前市大字広瀬

村上 啓

山間地域(88局)にも いよいよ“光”が!!

インターネットで、光ブロードバンドの利用ができなかった横武地区の一部、合河地区、岩屋地区に情報格差を是正するため、光ファイバー網がようやく整備されます。

民設民営方式により約8900万円の予算で光ファイバー網の整備を行います。

意見書案第4号は 訂正後に可決されました!!

意見書案第4号「福岡県に住宅リフォームに対する助成制度の創設を求める意見書(案)」は、昨年の12月議会に議員3名から提案されましたが、提案から半年以上が経過し、データなどの数字に変化があったことや市が「豊前市産材利用促進事業」をスタートさせる予定であることなどを理由に文言の訂正がなされ、全会一致で可決されました。

県内4ヶ所目の森林セラピー基地認定!!

本年3月に豊前市が森林セラピー基地として認定されました。県内では4ヶ所目、北九州・京築地区では初めての認定で、約900万円をかけセラピーロードや案内板等を設置し、森林浴による癒し効果で人々を呼び込み、観光客誘致を図ります。



平成25年6月定例会 議案審議結果

「○」……賛成 「●」……反対
 「議長」……議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	黒江哲文	平田精一	安江千賀夫	鈴木正博	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	榎本義憲	尾澤満治	山崎廣美	爪丸裕和	宮田精一	磯永優二	渡邊一	秋成茂信	賛成	反対
議案第41号	豊前市職員退職手当支給条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	13	1
議案第42号	豊前市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第43号	豊前市中小企業融資金の預託に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第44号	専決処分について（豊前市税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第45号	専決処分について（豊前市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第46号	辺地総合整備計画の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第47号	豊築地区障害程度区分認定審査会共同設置規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第48号	専決処分について（平成25年度豊前市一般会計暫定補正予算 第1号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第49号	専決処分について（平成25年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 第1号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	13	1
議案第50号	平成25年度豊前市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	13	1
意見書案第4号	県として住宅リフォーム助成制度の創設を求める意見書（案）の提出について【継続審査分】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
請願第2号	少人数学級の推進、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出に関する請願	採択	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	13	1
同意案第2号	豊前市公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
同意案第3号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異義なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0

一般質問

そごが聞きたい・なんとかしたい

『豊明会』の一般質問



鈴木 正博



平田 精一



黒江 哲文

【質問項目】

- ① 中山間地域の政策
- ② 学校教育の活性化と教育力強化
- ③ 安心子ども基金の活用
- ④ 市長の市政方針
- ⑤ 豊前市の観光振興と経済の活性化
- ⑥ 定住自立圏構想
- ⑦ 人材育成と機構改革
- ⑧ 教育行政
- ⑨ 豊前市の田畑を守る対策

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご覧ください。

豊前市で子どもを 育てる教育を

平田議員 島根県隠岐郡の離島にある海士町では、「島まるごと教育ブランド化事業」を立ち上げ、町をあげて人材育成を行っている。島以外の子どもたちにも広く公募し、子育て世代が引越してくるといった成果が出ている。

合岩小・中学校は校区外でも通学できる特認校となっており、運動会や色々な活動も小・中合同で行っていることから、小・中一貫校のような特色ある教育を行えば、豊前市内外から子ども達が来るのではないかと思うが、いかがか。

教育長 教育委員会として今後も、小・中の連携を推進していきたい考えである。9年間を見据えたカリキュラムの編成や人間関係の構築、故郷を大事にする子どもを育成したいと思っている。

平田議員 そうであれば、

豊前市内外に、こういった小・中学校で勉強をしませんかといったPR活動をしたらどうかと思うが、いかがか。

教育長 少人数特認校の取組みや募集については、市報や豊前市のホームページ等に掲載しPR活動を行っている。より効果的な方法があれば検討したい。



合岩小・中合同運動会

平田議員 また、海士町では、一般社会人から成功談や体験談を聞くといった授業を行っているようだ。市もこういった取り組みが必要であると思うが、いかがか。

教育長 是非、そういった機会を作り、子ども達に指導してもらいたいと思う。現在、外部からの講師を招いて授業をしたり、ゆず祭りに参加して自分たちの手づくりのゆずの加工品を販売するなど行っているが、そういったことを、今後も増やしていきたいと思う。

豊前市の発展に向けて

黒江議員 豊前市の発展に向けて観光振興と経済の活性化が重要課題として求められると思うが、市長の戦略をお聞きしたい。

市長 豊前市において、観光はまちづくり、地域づくりだと思っている。地域の自然豊かな歴史・文化を活かした観光資源や農林水産物、農商工の連携といった施策を取り入れ、しっかりと取り組んでいきたい。

黒江議員 行政は横のつながりに弱く、各課が何を企画しているのか、どんなまちにしたいのか全

く見えないため、まず先に、豊前市の全体図や将来のビジョンを描いて、具体的な政策を考えていく方が効果的だと思う。そこで、庁内プロジェクトチームを作るべきだと思うが、いかがか。

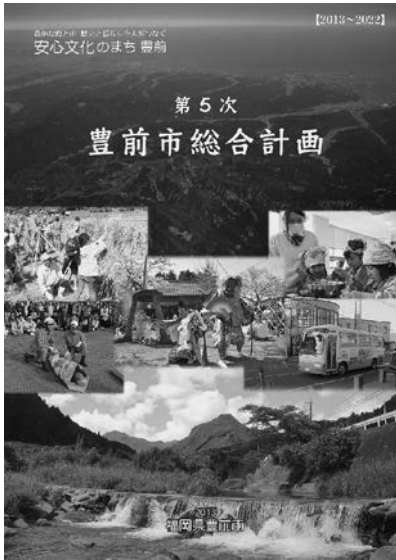
市長 現在、各課にまたがっている事業が多くそれを調整するだけで時間と労力が必要である。暫く経緯を見守りながら考えていきたい。

黒江議員 市の政策を中心に、まちを動かすのは商工会議所だと思う。行政と会議所との連携がまちづくりの鍵であると思うが、会議所との連携や役割について、市長の考えをお聞きしたい。

市長 今後も、商工会議所と連携して、現場の持つ力を共有し、情報交換をしながら前向きに進められるような関係を築いていきたいと思う。

黒江議員 市民と協働のまちづくりの観点から、市民自らが立ち上がり、サービスや政策を提案して行政と協働するといった、提案公募型事業がある。人・物・力を活用した仕組みを作るといった考えは、いかがか。

市長 地域の意見を聞き、市民自らがやっていこうという姿勢は歓迎したい。議員の提案については、色々と精査し研究していきたい。



総合計画

職員の人材育成と効率的な市政運営を

鈴木議員 市は、職員の人材育成や職種に応じた専門的な研修を行い、その能力を生かした適正配置をする必要があると思うが、職員研修について、現状をお聞きしたい。

総務課長 接遇研修のほか、新規採用職員研修や新任管理職研修、スキルアップのための専門的な研修に参加している。また、他市町村との合同研修も行っているところだ。今後も研修内容の充実を図り、職員の質の向上に努めていきたい。

鈴木議員 男女共同参画の取組みを、豊前市も推進しているが、女性の登用については、実際、女性職員がその気にならないと難しい面もあり、非常にプレッシャーを感じているとのことだ。そこで、女性職員に対して、自意識が高まる研修をするべきだと思うが、いかがか。



市役所の様子

総務課長 過去において、担当職の偏りや十分なキャリア形成が図られていなかったため管理職への不安、また家庭事情等の理由により女性登用の比率が低いことにつながっていたようだ。今後は、職責に応じた役割を担うことや計画策定・方針決定の場に女性職員が参加できるように女性配属をしていきたい。

鈴木議員 昨年の12月議会でも市政の効率運営、市民サービスのために、機構改革を行ってはどうかと申入れをしていたが、その後の進展について、お聞きしたい。

総務課長 平成19年に機構改革をして6年が過ぎたが、行政改革に伴う職員の削減や地方分権に伴う事務事業の権限移譲により、各課において事務量の不均衡が生じているようだ。今後、市政運営にあたっては効率的、機能的な組織の見直し課題であると認識している。

一般質問

そごが聞きたい・なんとかしたい

『同志会』の一般質問



渡邊 一



爪丸 裕和



福井 昌文

【質問項目】

- ① 防災対策
- ② 教育問題
- ③ 幼稚園の第3子以降の無料化
- ④ 財政問題
- ⑤ 人口増対策
- ⑥ 選挙結果
- ⑦ 買い物弱者対策

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご閲覧ください。

学校で問題が起きた ときの対応は

福井議員 今、学校は、いじめや不登校、体罰など様々な問題を抱えているが、こういった問題が発生した場合、教育委員会はどうか対応するのか、お聞きしたい。

教育長 学校内で対応できる問題と、教育委員会に報告する問題とがある。後者の場合は、教育委員会として、私や指導主事が指導・助言を行っている。

福井議員 そういった対応で、改善の方向に向かっているのか、お尋ねしたい。

教育長 問題行動が起きて、即対応したから、即解決というわけではない。事例によっては、なかなか難しい問題もある。ただ、各学校長に対しては情報公開をして、保護者や地域の方々の協力を仰ぐよう指導している。また、関係機関ともよく相談するよう指導している。



市内小学校での授業の様子

福井議員 市長は、所信表明の中で、教育関係の具体的な施策については抱負を述べていたが、教育についての総合的な考えをお聞きしたい。

市長 感性の豊かな子ども、規範意識のしっかり身に付いた子どもに育ってほしい。また、学校の先生に任せるだけではなく、地域で支えていく教育が望ましい姿ではないかと思っている。

福井議員 中学校の部活の外部コーチに対する待遇が近隣自治体に比べ、劣っているようだが、いかがか。

教育長 豊前市は、体力アップアドバイザー派遣事業を活用し、4中学校に補助金を出しているが、待遇については、関係機関と協議をして対応を考えた。

幼稚園の第3子以降の 無料化 早期実施を

受けた案件については、議会終了後に開催される所属長連絡会議で、副市長から説明があり、後日担当課から対応等についてそれぞれ報告が出されることになっている。

爪丸議員 全国で第3子以降の無料化を同時に実施した自治体が知っているだけで3つある。また、群馬県富岡市は、保育園でスタートした1年後に幼稚園でも始めている。

豊前市の差別的扱いを速やかに解消すべきと思うが、いかがか。

副市長 この件について

は、前市長が、文教厚生委員会のご意見をお聞きしたいという提案をされていたので、その意見を参考にして進めていきたい。

爪丸議員 この件は、執行機関の問題だ。差別化することなく、平等な取扱いをすべきと思うが、市としての姿勢を示していただきたい。

市長 少子化に歯止めをかける手段として、育てやすい環境をつくるのは当然のことと思う。文教厚生委員会でも議論されているとお聞きしたので、その動向を見守りたい。

市長 かなりの分量の膨大な資料を受け継いだ。まだ細部にわたる引継ぎには至っていない。

総務課長 議会で指摘を



市内の幼稚園の様子

市長選、県議補選の 結果を受けて

渡邊議員 今回、後藤市長は無投票で当選されたが、無投票当選をどう捉えているか、感想をお聞きしたい。

市長 無投票で当選させていたが、本当にありがたいことだと思っている。ただ、無投票の場合、今まで自分がどんなことをやってきて、それを今後どのように活かしていくかを訴えたり、市民の皆さんが何を考え、何を求めているかお聞きしたりする時間と場所が限定されるので、残念なところもある。やはり政治を志す以上、自分がどう考えているかを訴えていく時間を作っていくかなければと思っている。

渡邊議員 地域行政は、国や県と深いつながりがある。新しい県議会議員と、今後、どういう関係で、どう取り組んでいくつもりか、お聞きしたい。

市長 市と県、県と国、



県道中畑～八屋線の道路拡幅工事の様子

初当選した県議会議員をリードすると同時に、また十分連携をとりながら、この地域のために市政を推進していただきたいと思います。が、いかがか。

市長 大先輩のご指摘を重く受け止めて対応していきたいと思う。

渡邊議員 この地域のために、国会や県議会とともに手を携えて、市政を推進していくことを心から望む。

一般質問

そここが聞きたい・なんとかしたい

『新世会』の一般質問



山崎 廣美



尾澤 満治



秋成 茂信



岡本 清靖



安江 千賀夫

【質問項目】

- ① 自主防災組織
- ② 耕作放棄地対策
- ③ 市バス事業
- ④ 防災行政無線
- ⑤ グリーンツーリズム
- ⑥ フレスポくぼてんタウン
- ⑦ 1次産業から6次産業に向けて
- ⑧ 豊前市長就任あいさつ
- ⑨ フレスポくぼてんタウンと3公共施設の在り方

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご閲覧ください。

全地区に自主防災組織の立ち上げを

安江議員 豊前市は海拔表示や防災行政無線の設置など相次いで防災に向けての施策に取り組んでいるが、防災体制の中心となる自主防災組織が全地区での立ち上げには至っていないようだ。市の現状について、お聞きしたい。

総務課長 平成23年度より各地区での自主防災組織の設立に向けて取り組んでいるが、市内131地区のうち、5月末現在で、77地区、58・8%の組織率である。

安江議員 また、この自主防災組織の立ち上げが進まない理由を、お聞きしたい。

総務課長 その理由として、過去に災害が少ない地域というのが浸透しており、市民の防災に対する意識が低いことが考えられる。

安江議員 今年の3月に、大村地区で行われた災害

時要援護者避難支援防災訓練に参加し、自主防災組織の立ち上げと、自力で避難が困難な方の把握が必要だということを感じた。そこで、まずは自主防災組織を立ち上げる、更に要援護者のリストを作成する、この2点を再度、全地区に指導す

べきと思うが、いかがか。総務課長 大村地区においては、自治会が中心となって避難経路の確認や要援護者の把握や支援などの協議を重ね、理想的な形で自主防災組織の設立に至った経緯がある。これを今後の取組みの基本として推進していきたい。

安江議員 市が必死になれば市民を動かすことができると思うので、自覚と責任を持ってしっかりとやって頂きたい。



大村地区避難訓練・防災訓練

防災行政無線の円滑な運用を

岡本議員 豊前市も少しずつ防災対策について、前向きな取り組みが行われていると感じる。そこで、4月より防災行政無線の運用が開始されたが、いろいろな苦情があったと聞いている。その内容について、お聞きしたい。

総務課長 電話、メール、目安箱等で26件のご意見を頂いた。また、各地区で行われた区長会では、音がうるさいという意見と、聞こえにくいという意見が同じくらいあった。音がうるさいとのご意見については、趣旨を丁寧に説明し、ご理解を頂い

たところだ。

岡本議員 防災行政無線は市民を守るために、必要な手段であると思っている。今後、苦情や問題点の解決に向けてどのような対策をするのか、お聞きしたい。

総務課長 定期点検の中で、音響状況を調査して、スピーカーの向きを変更するといった改善を行いたい。また、代替手段として防災無線と同じ内容が確認できるフリーダイヤルの登録や県単位のシステムで、豊前市の警報等が配信される「防災メール・まもるくん」の活用をしたい。将来的には、防災ラジオの検討など総

合的に活用して、市民の皆様には色々な手段で情報を伝達したいと考えている。

岡本議員 緊急の場合、防災行政無線を使って、地域からも情報伝達ができるようだが、誰がどう使うのかなど、その活用方法が分からないという声を耳にするが、いかがか。

総務課長 個々のスピーカーについては、自主避難、避難誘導、共助の呼びかけなど災害時の活用だけに限定している。取扱いができる方は、区長、自主防災組織の会長、公民館長、消防団分団長に限定している。



防災行政無線

豊前市の活性化に向けて

尾澤議員 市長は、市のホームページのあいさつで「生涯現役の社会」について述べているが、生涯学習の観点から、子どもと大人が共に学べるよう、例えば、小学校の空き教室を公民館活動として利用したり、時には、高齢者の方に、授業の中で今までに体験した事を話してもらおうといった取り組みをしてはどうか。

市長 私の就任挨拶に、高齢になっても家に閉じこもらずに、ご自身が培ってきた技や思いをぶつけていく場を、人との出会いをとということを掲げている。議員の提案については、学校教育の中で可能性があるのかどうか教育委員会と相談してみたい。

尾澤議員 次に「防災情報の発信」について市長は、防災ラジオの導入を検討しているようだが、機器としては、タブレット

トを使ってはいかがか。タブレットにアプリを入れておけば、ラジオを聴いたり、独居高齢者の安否確認をするなど多機能に使うことができる。市長の見解を伺いたい。

市長 こういった端末を使えば、多機能の面で大きな力を発揮すると思う。ただ、高齢者の方々がうまく使えるのか、また経費等の問題もあることから、国の補助制度も含め

て、研究したいと思う。

尾澤議員 市長が、豊前市という組織をどのように舵を取るのかが重要である。市民の期待に応えるために、組織のトップとして先頭に立って、活気のある豊前市に変えていただきたいと思うが、市長の意気込みを、お聞きしたい。

市長 豊前市を力づける、元気づけるためには、私をはじめ職員一人ひとりが力を発揮し、心も力も時間も集中して一体となった組織になることが大切だと思う。議員のみなさんとも力を合わせて頑張っていきたい。



一般質問

そごが聞きたい・なんとかしたい

『豊友会』の一般質問



磯永 優二



榎本 義憲



鎌田 晃二

【質問項目】

- ① 聴覚・言語障害
 独居者の通報システム
- ② 高齢者に対する熱中症対策
- ③ 孤独死防止対策とサポート
- ④ すこやか赤ちゃん出産祝金と
 敬老祝金
- ⑤ 鳥獣被害対策
- ⑥ 防災行政無線
- ⑦ 人口増（少子化）対策
- ⑧ 生活環境と都市基盤整備
- ⑨ 豊前市行財政改革プラン

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご覧ください。

聴覚・言語障害者を 守る通報システムは？

鎌田議員 聴覚及び言語障害のある方々が事件、事故、災害などで119番通報に大変困っている

と聞く。今、豊前市ではどのような対応をとっているのか伺いたい。

福祉課長 現在、広域圏消防本部にファクス119番という緊急通報専用ファクスを設けている。

緊急通報受信後、所管の消防署に指令が出され、同時に通報者にファクスで返信するシステムとなっている。

鎌田議員 独居の高齢者には緊急通報システムの貸出しが行われているが、聴覚・言語障害者への貸出しが行われているのか、お聞きしたい。

福祉課長 現在のところ独居の高齢者を中心に貸し出しを行っている。ただ現行の緊急通報システムでは緊急通報用のボタンを押した場合、消防署から通報者に対して状態

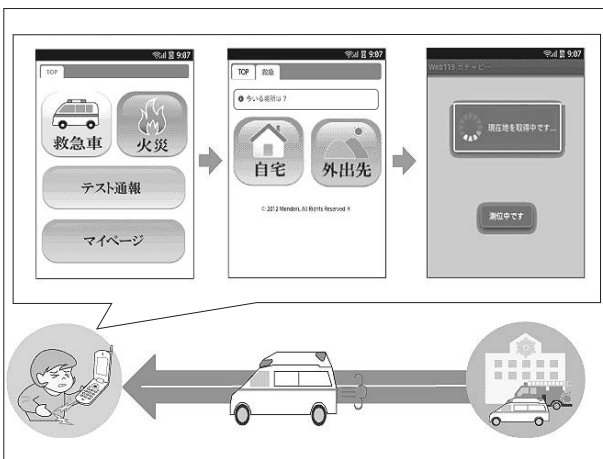
確認等があるため、聴覚・言語障害者の方には課題があると思われる。

鎌田議員 刈田や行橋では障害のある人へも貸し出しを行っているようなので検討をお願いしたい。

そこで今から「緊急ウェブ通報システム・ガチャピー」の話をしたが、これは携帯電話で救急車や火災のマークを押せばすぐに消防署に繋がるシ

ステムで、聴覚・言語障害や高齢者等が簡単に119番通報できるものだ。外出時でもGPS機能が付いていれば発信場所も自動的に特定され、GPS機能が付いていない機種でも外出先から通報ができる。このシステムを導入してはいいかがか。

福祉課長 使用方法が簡単であることや位置情報が明示できることなどは障害者にとって重要なことだ。今後、関係団体や障害をお持ちの方々と協議し、広域圏消防本部にも働きかけをしたいと思う。



「緊急ウェブ通報システム・ガチャピー」のイメージ図

人口増に向けた 取組みを

榎本議員 豊前市の人口は年々減少傾向にあり、平成9年度では3万人を超えていたが、本年5月末現在で約2万7300人になっている。人口を増やすためには、市長の所信表明にあったようにU、J、Iターンへの取組みで市外に住んでいる人を豊前市に呼び戻すことが大事だ。また、保育料の第3子以降の無料化や家賃補助等をPRすることも重要だ。市内外へのPRについて市長の考えを伺いたい。

市長 U、J、Iターンへの取組みとして、豊前

市に少しでも関わりや関心のある人に市の魅力を再認識してもらうことが重要と考える。そのために情報を的確に隅々まで送り届けることが大切なのでしっかりと研究したい。

榎本議員 市では定住促進パンフレットを作成しているが、あまり活用できていないようだ。庁内各課に配布して転入者などへの広報に努めてはいかがか。

市長 素晴らしいものを作っても皆さんが知らなければ宝の持ち腐れにしなければならない。真摯に受け

止めたいと思う。

榎本議員 また、市では青豊や薬師寺地区で宅地を分譲しているが、特に青豊の分譲地は単価が高く、普通の人ではとても買えない。今後、青豊や薬師寺の分譲地が売れ残る可能性がある一方で、価格の見直しや固定資産税の減免などして早く売るべきと思うが、いかがか。

市長 青豊や薬師寺、旧警察署跡地等の分譲地があるので、しっかりと情報を公開し、売るといことを前提に頑張りたい。



定住促進パンフレット

知恵を絞って 企業誘致を

榎本議員 「豊前市には

帰ってきてでも働く場所がないので、若者が返ってこられない」と多くの市民から聞く。働き場所の確保のため、小石原の工業団地拡張に向け市も努力しているが、かなり遅

れているようだ。その遅れの原因について、市長はどのような報告を受けているのか伺いたい。

市長 遅れた原因については、農地法の改正により国が自給率を下げないために農地転用を強く制限した結果だと認識している。

榎本議員 昨日の答弁で工業団地の拡張は26年度に完成することだが、工事費の総額はどのくらいかかるのか伺いたい。

まちづくり課長 土地買収と道路工事を合わせて約6億4千万円の予定だ。

榎本議員 約6億円かけて完成した工業団地に入る予定の企業などは決ま

っているのか。

まちづくり課長 相談を受けている企業は数社あるが、具体的に決まっている会社はまだない。

榎本議員 日本の企業は今、日本から東南アジア等の海外に工場を移転させている。豊前市に來てもらうには、それ相応の優遇政策が必要と思うが、そのような検討をしているのか、お聞きしたい。

まちづくり課長 現在、企業誘致については、市・県及びグリーンアジア特区に関する優遇制度があり、企業に対して説明をしている。

榎本議員 他の自治体と同じような優遇制度ではだめだと思う。豊前市独自の優遇措置を考え、市長を先頭にPRすべきと思うが、いかがか。

市長 ご指摘いただいた点も含め、どのようにすれば魅力的になるのか、誘致策として何がふさわしいのか、しっかりと研究したいと思う。



小石原工業団地付近

一般質問

そここが聞きたい・なんとかしたい

『無党派』の一般質問



宮田 精一

【質問項目】

- ① 産業の振興
- ② 健康・福祉の充実
- ③ 都市基盤の整備
- ④ 教育・文化の充実
- ⑤ 住宅リフォーム助成制度の創設
- ⑥ 同和行政終結宣言
- ⑦ 九州電力発電所に関する問題

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていただきますので、お気軽にご閲覧ください。

特産品を

どう育てるか

宮田議員 先日、「人生、いるどり」という映画を見に行ったが、これは町の危機に立ち上がり、女性たちの活躍と友情を描く心温まる感動の実話で、徳島県のある町で、山で採れる葉っぱを料理のつまものとして販売し年商2億円以上を稼ぎ出すという内容の映画だ。市長は今回の施政方針で地域の特色を活かした特産品を開発したいと言っていたが、具体的にどのようなものを想定しているのかお聞きしたい。

市長 特産品というのはその地域独自のものというイメージがあるが、それだけではなく、もの作り方だけで特産品化することもあると思う。それぞれの地域のオリジナリティを活かしながら見つけ出し、育てていくのが特産品化だと思っている。

八毛に対して豊前のコチを特産品として売り出していたと思うが、現在は尻すぼみの状態だ。この件に関して検証や総括等を行ったのか伺いたい。

市長 コチの育成に取り組んだのは10数年前になると思うが、尻すぼみの理由は二つある。一つ目は、当時たくさん獲れていたコチが獲れなくなっただけということだ。また、二つ目は、コチは骨が硬く複雑に入り組んでいるため料理しづらいという

ことだ。コチの漁獲量がかなり少なくなっているため、そのコチを特産品化するには研究が必要と思っている。

宮田議員 最後に、現在ある観光資源をどう活かしていくかが観光行政の肝と思うが、市の基本姿勢について伺いたい。

市長 点である観光資源を面に広げ、線で結んでいく観光ルートを構築することは大事な。豊前市には海・山・伝統文化など誇るべきものがたくさんある。それらをどう組み合わせていくのか。また、どのように活かしていくのか。しっかりと取り組んでいきたいと思う。



豊前市の特産品

宮田議員 以前、中津の

平成25年度

一般会計予算

総額115億130万円

予算決算委員会
2日間で慎重審査

6月定例会では、予算決算委員会設置後初めて当初予算の審査を行いました。
委員会は6月17日、18日の2日間開催し、予算書細部にわたって市側に質問や指摘などがなされました。そのうちの一部を紹介します。

委員会で指摘した主な事業

◎ 敬老祝金、すこやか赤ちゃん出産祝金事業 2306万円

印刷費や手数料を削減し、市民からの要望に応えるためにも現金化してはどうかと指摘しました。また、敬老会入会年齢である75歳のときにも敬老祝金を支給してはどうかと提言しました。

◎ 通勤定期券購入助成事業 135万円

市外からの転入者に対してのみ通勤定期券の一部を助成する内容であったため、もともと市内に住んでいる人やマイカー通勤者に対しても配慮すべきではないかと指摘しました。

◎ 市民会館長期使用可能性調査事業 790万円

市民会館は建築後50年が経過しており、市費単独による長期使用可能性調査は必要があるとは思われないので、予算執行については保留するよう指摘しました。

◎ 遊休農地活用放牧事業 60万円

悪臭などの環境問題に配慮するため、当該地の区長及び生産組合長の同意を得ることを条件に入れてはどうか、また、飼育頭数についても十分検討するよう促しました。

議会を傍聴しましょう!!

市議会の様子を知る最もよい方法です。
多数の方の傍聴をお待ちしています。

9月議会日程表（予定）	
日時	会議
9月2日(月)	本会議(議案上程など)
9月3日~8日	休会
9月9日(月)	本会議(一般質問)
9月10日(火)	本会議(一般質問)
9月11日(水)	休会
9月12日(木)	常任委員会
9月13日(金)	常任委員会
9月17日(火)	常任委員会
9月18日(水)	常任委員会
9月19日(木)	常任委員会
9月20日(金)	常任委員会
9月24日(火)	予備日
9月25日(水)	本会議(採決など)

※議会日程については、変更になる場合がありますのでご了承ください



予算決算委員会での審査の様子

日本放送協会 (NHK) 井上編成局長に要望

7月10日に磯永優二議長、山崎廣美副議長をはじめ議運及び各常任委員会の委員長は後藤元秀市長とともに、NHK放送センター（東京都渋谷区）を訪問しました。

本市から、井上樹彦編成局長（写真左、前列左から2人目）や来年放送予定の「軍師官兵衛」担当の中村高志チーフ・プロデューサー（写真左、後列左から6人目）などに対して、黒田官兵衛が九州で初めて桜の花見が行われたと考えられている求菩提の「芭蕉塚」や豊前市における官兵衛ゆかりの史料などについて説明し、大河ドラマでの放送や市内での撮影等をお願いしました。井上編成局長からは、ドラマ内で取り上げるかは脚本家との打合わせ等が必要なので検討したいという返事がありました。



九州電力 瓜生社長と面談

5月27日、磯永優二議長は、後藤元秀市長とともに、九州電力株式会社の本社に、瓜生道明社長（写真、前列左から1人目）と伊崎数博発電本部副本部長（写真、後列左から1人目）を訪問しました。磯永議長は、瓜生社長に対し、平成23年4月に開かれた臨時議会での電力の安定供給に関する決議を踏まえ、電源立地の自治体として電力の安定供給について議会としても最大限の支援を行うことを伝えました。これに対し、瓜生社長からは、九電としては電気料金の値上げを最小限に抑えるためにできる限りの歳出削減をしているという返事がありました。また、今後のエネルギー政策については、国の方針を見極めながら対応していきたいと語っていました。



豊前市は災害も少なく、自然や文化、また地域や人などがとても素晴らしい環境にあると思います。しかし、東九州自動車道の開通に向けて、市民の中には便利になる期待と素通りになり豊前市低迷の不安を感じている人もいます。

どのようにすれば、その不安を解消できるのでしょうか？

今、全国的にもまちづくりや観光について重要視しているのが「地域コミュニティ」の推進です。

市の方針である第5次総合計画に「市民との協働によるまちづくり」を掲げています。地域コミュニティを現実化するには、市民生活の現状がどうか、市民が求める理想はどんなものかを知る必要があります。

そこで、議会からの提案により各公民館にも目安箱を設置いたしました。また、議会にも内容が届く仕組み

になっていますので、是非、皆様方の想いを投稿してください。

市民の声が市政へと反映できるよう、また、市民の代表としての役割を果たせるように務めてまいりたいと思います。

私たちの暮らすまち“豊前市”の発展に向けて、皆様方のお力添えを切にお願い申し上げます。

黒江 哲文

次の定例市議会は

9月です

● 議会を傍聴しましょう ●

市議会の様子を知る最もよい方法です。
多数の方の傍聴をお待ちしています。

市議会だよりは資源保護のため再生紙を使用しています。

■ 編集：編集委員会
（編集委員）

委員長：尾澤満治 副委員長：安江千賀夫
委員：黒江哲文、平田精一、鈴木正博

■ 印刷：上森印刷所